



佐野厚生農業協同組合連合会

地域医療支援病院 佐野厚生総合病院 地域医療連携室たより



病院長 村上円人

連携医療機関の皆様、こんにちは。病院長の村上でございます。

両毛線 黄色と緑 麦の秋。新型コロナウイルス感染症は、5月になり当院の検査陽性率が10%未満に低下し、地域での患者数の減少は確実に進んでおります。感染症に特化していた1つの内科病棟を、県庁と連携して6月から通常病棟体制に戻します。しかしインバウンドが本格的に再開になる等、再燃のリスクがあり油断大敵です。これからも、マスク等の標準予防策遵守とワクチン接種の啓発を地域で進めていきましょう。

本年度は整形外科主任部長が吉川先生に、産婦人科主任部長が平嶋先生に交代になりましたので、ご挨拶させていただきます。また4月から災害拠点病院に指定され、計画的な職員全体研修が始まります。看護教育強化が実を結び、特定看護師育成が進んでおります。

本年度は医療スタッフが過去最多となり、急性期医療充実のため、限られたマンパワーを急性期医療へシフトいたします。慢性期病棟の内科急性期病棟への転換をめざしています。県庁、安足健康福祉センター、佐野市医師会、佐野市内の主要な病院へご説明しながら、地域でのご理解を進めているところでございます。“断らない救急”を実現するための取り組みです。ご理解とご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

本年度はスタッフ若返りが進み、ご迷惑をおかけすることもあると思います。連携医療機関の皆様のご意見を伺いながら、さらなる成長を目指してまいります。今後も軽症患者の逆紹介を進めていきますので、ご紹介をお待ちしております。

宜しくお願い申し上げます。



【対応時間】

地域医療連携室

- ・ 月曜～金曜 8:30～19:00 0283-22-5222 (代表)
- ・ 第1・3・5土曜 8:30～12:45

FAX 0283-22-8982

E-mail: renkei@jasanoko.or.jp

<http://jasanoko.or.jp/link-up.html>

➤ 上記以外は救急センター対応 0283-22-5222 (病院代表)

医師紹介

【今年度、部長に就任した医師】



整形外科部長

よしかわ としかず

吉川 寿一

4月より整形外科主任部長に就任いたしました吉川 寿一と申します。前任の清水の異動に伴い今後は私が業務を引き継ぐことになりました。僭越ではありますが簡単に自己紹介させていただきます。

平成22年4月に足利赤十字病院より佐野厚生総合病院に赴任し、両毛地区には両病院を合わせると15年以上お世話になっております。膝関節を中心に下肢の関節機能の良好な再建を目指して治療を行ってまいりました。おかげさまで人工関節置換術や関節鏡手術等で少しずつ実績を積み上げることができるようになってまいりました。

前任の清水同様、今後ご指導くださいますようお願いいたします。



産婦人科部長

ひらしま ひろと

平嶋 洋斗

令和4年4月に産婦人科部長を拝命いたしました平嶋洋斗と申します。

当科は医師7名で若手医師が多く、やる気、元気に満ち溢れております。より良い医療を提供できるよう、チーム一丸となって日々精進していきたいと思っております。

当科は他科の先生方のサポートがないと成り立ちません。麻酔科、小児科、内科、外科など多くの先生方のご指導、ご協力に大変感謝しております。

まだまだ不慣れなことがありますが、誠心誠意努力していきたいと思っておりますので何卒よろしくお願いいたします。

特定看護師



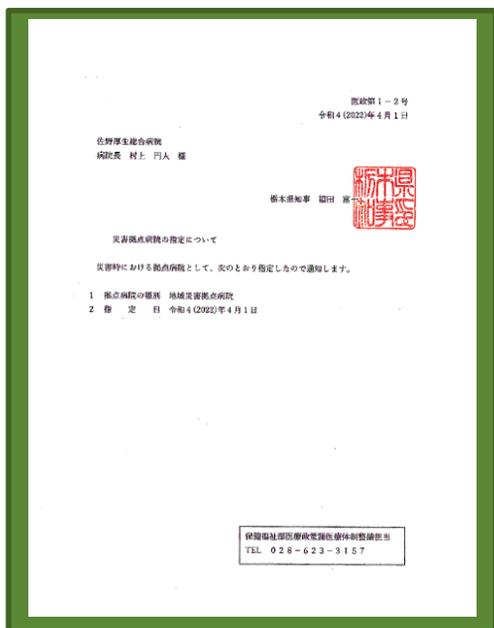
いしかわ かつお
石川 勝夫(手術室勤務)

【 特定看護師 】 とは

実践的な理解力、思考力及び判断力、並びに高度かつ専門的な知識及び技術を用いて、患者の状態を見極めることで異常の早期発見・重症化予防に係り、タイムリーな介入で患者さんの負担の軽減を図ることを目的とし、特定行為及び特定行為区分（38行為21区分）の中で、特定行為研修を終了した特定行為を診療の補助として、医師の包括指示（手順書）をもとに侵襲度の高い医療行為を提供できる看護師です。

私は、2021年度に術中麻酔管理領域パッケージで計8行為の研修を終了しました。特定行為研修では技術だけではなく、臨床病態生理学・臨床薬理学・臨床推論・臨床病態概論など医師の思考過程を学びました。実習を通して全身麻酔を受ける患者さんをアセスメントし、術中の安全を確保するための知識・技術をさらに深めることができました。手術を受ける患者さんは麻酔や手術操作による侵襲に加え、手術に対する不安や緊張など精神的ストレスを抱えています。今回学んだことを活かし、麻酔科医の視点からも患者さんを見ることで手術を受ける患者さんの、身体的・精神的な負担を軽減し、安心・安全に手術を受けることができるように多職種と協働しながらチーム医療に貢献したいと考えております。また、ケアを焦点に特定行為を実践するにあたり同職者への情報共有や指導を行い質の高い看護の向上を目指していきたいと思っております。引き続きのご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

災害拠点病院に指定



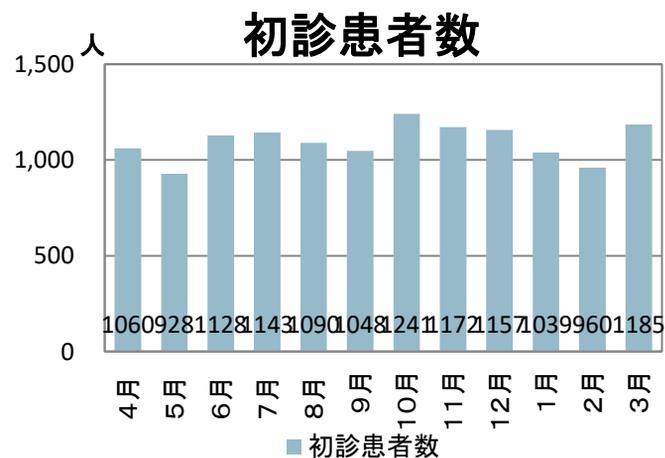
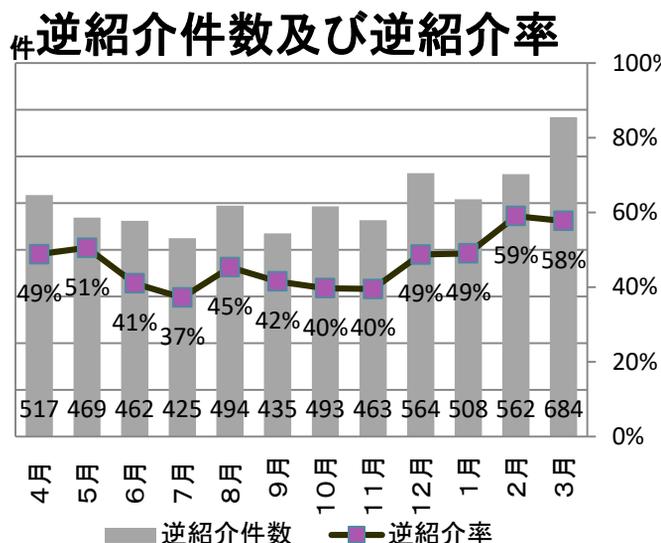
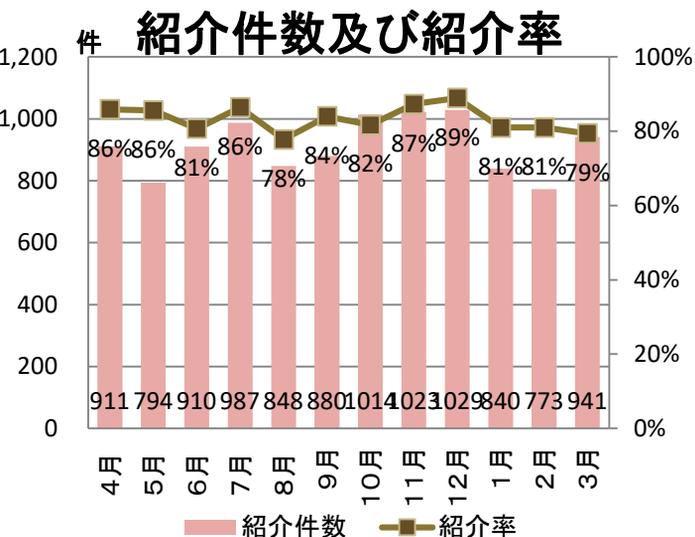
2018年度からDMATを結成し、研修・訓練を重ね、令和4年4月1日に指定となりました。

地域の災害医療の要としての歩みが始まります。

『災害拠点病院』とは、災害発生時に栃木県からの要請により傷病者の受入やDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣等を行います。

当院は、連携登録医療機関の先生方や各関係者の皆様とともに、今後も
 しっかり佐野市唯一の地域医療支援病院として地域医療を守っていきたく
 考えております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

2021年度 月別紹介・逆紹介率



連携登録医療機関数

医療機関数		歯科医療機関数	
佐野地区	73	佐野地区	56
足利地区	40	足利地区	26
栃木・小山地区	28	栃木地区	1
館林・邑楽地区	45	館林・邑楽地区	—
太田	5	太田	—
合計	191	合計	83
2022年6月1日現在		274施設	

地域医療連携室から一言

日中は暑くなったり、朝夕はまだ肌寒く感じたり、気温の変化で毎日着る服を迷ってしまいます。天気がいい休みの日には窓から外を眺める猫に癒やされたり、外へ出るのが好きな猫のお散歩をしたりして過ごしています。6月になり梅雨に入るとお散歩にも行けなくなるので、今のうちに連れて行ってあげたいなあと考えています。T・U